

令和2年度「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の推進について

令和2年7月22日
砂 防 課

1 要 旨

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、6月1日に尾道市で開催予定の「土砂災害防止 県民の集い」を中止とするなどプロジェクトの推進にも影響がでており、この影響を最小限にするため、家にいながら土砂災害を学べる「砂防学習動画」の公開や、メディアとの積極的な連携など新たな取組により、啓発事業の推進、防災教育の機会確保等に努める。

2 プロジェクトの主要な取組

(1) 「啓発」に関する主な取組

土砂災害に関する防災知識の普及と警戒避難体制整備の促進を図るため、本格的な梅雨時期となる土砂災害防止月間（6月）を迎えるにあたって、各市町等と連携して様々な啓発活動を実施する。

ア 「令和2年度土砂災害防止県民の集い」（講演、事例報告、会場イベント等を実施）

開催予定時期：令和2年6月1日（月）

開催場所：しまなみ交流館（尾道市）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止

イ 集中的な広報活動（絵画・作文募集、県HPや広報誌、メディア連携※等）（図1、写真1）

※5月31日20:56から放送の「ひろしま県民テレビ」で土砂災害に対する備えを周知

ウ 避難を呼びかける啓発ポスターを6月から公共交通機関等に掲示（図2）

※避難行動調査を踏まえた「あなたの避難がみんなの命を救う」の啓発ポスターを新たに作成

※県内在住の外国人に対して避難行動を促すため、土砂災害に係る啓発チラシを多言語に翻訳

エ 日頃から土砂災害リスクを意識できるよう小学校区ごとに土砂災害警戒区域等の標識を設置

※令和2年7月1日に平成30年7月豪雨により被災した安芸郡熊野町川角に1基目を設置



図1 絵画・作文広報(SNS)



写真1 啓発ポスター（広島電鉄）



写真2 土砂災害警戒区域等の標識

(2) 「防災教育」に関する主な取組

土砂災害に関する防災知識の普及を図るため、学校との協働による子供たちを対象とした「砂防出前講座」や、地域の防災活動の中心となる自主防災組織等を対象とした「防災教室」に取り組む。

ア 小・中学校、及び防災教育を担う教師等を対象とした「砂防出前講座」の実施（写真2）

イ 自主防災組織の代表者等を対象とした「防災教室」の開催（写真3）

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の対応として「砂防学習動画」の公開やweb会議システムを活用した講義など砂防学習の機会確保策を実施する。



写真3 砂防出前講座で現地見学（左） 児童が防災学習の成果を発表（右）



写真4 自主防災組織への防災教室

(3) 「伝承」に関する主な取組

災害伝承や防災教育等の機会を通じて過去の被災事実を伝え、地域の“語り部”を育成することを目的に、過去に発生した土砂災害の資料収集・記録・共有する取組を進める。

- ア 県ホームページの「地域の砂防情報アーカイブ」により、災害の写真や体験談、土砂災害に関する石碑等を公開（写真4）
- ア 災害の記憶つなぐ人の輪づくりとして、土砂災害防止に関する啓発・伝承パネル及びDVDの貸出し、啓発パンフレット提供などの地域の災害伝承の取組の支援
- イ 土砂災害伝承パネル展の開催（写真5）

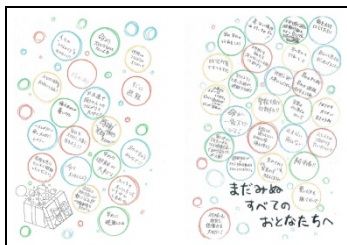


写真5 アーカイブ掲載資料

写真6 土砂災害伝承パネル展の様子

3 主な実績 (R元年度)

区分	取組概要	実績
啓 発	「令和元年度土砂災害防止県民の集い」の開催 ・東広島芸術文化ホールくららで開催（5/31開催）	約450名が参加
	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集 ・広島県の応募作品の中から、 <u>1名が最優秀賞（国土交通大臣賞）</u> 、 <u>3名が優秀賞（事務次官賞）</u> を受賞	572作品が応募
	「呼びかけ避難の啓発ポスター」の掲示 ・県内の主要な公共交通機関等に掲示（詳細は別表）	約5300枚を掲示
防災教育	「小・中学校を対象とした砂防出前講座」の実施 ・児童生徒が自分の命を自分で守り抜く力をつけるため小中学校で講座を実施	39小中学校で実施
	「自主防災組織等を対象とした防災教室」の実施 ・県民が避難行動の判断を適切にとれるよう防災知識の向上を図る取組を自主防災組織の代表者等に実施	28回実施
伝 承	「地域の砂防情報アーカイブ」の公開 ・平成30年7月豪雨災害の体験談などを登録	155点を新たに公開（H30.7豪雨災害を含む）
	「土砂災害に関する啓発・伝承パネル」の貸出し ・啓発パンフレットの提供など災害伝承の取組を支援	17団体へ貸出し 6団体へ提供

別表（避難につながる新たな取組である「呼びかけ避難の啓発ポスター」掲示箇所一覧）

機関名	依頼先	掲示場所	掲示枚数
公共交通機関	西日本旅客鉄道（株）	40 駅（待合室等）	40 枚
	広島電鉄（株）	全路線約100台（車両内）	約700枚
		21 電停（宮島線駅）	39枚
	（公社）広島県バス協会	県内路線バス約1,200台（車両内）	約1,200枚
医療機関	（一社）広島県病院協会	約250病院（待合室等）	約250枚
小売店等	「備えるフェア」協力企業等	約1,200店舗（店舗内）	約1,500枚
行政機関	各市町	23市町（庁舎内等）	約450枚
教育機関	中学校・高等学校等	426校（校内）	880枚
その他	HPからの申込者等	集会所、地域の掲示板等	約250枚
計			約5,300枚